

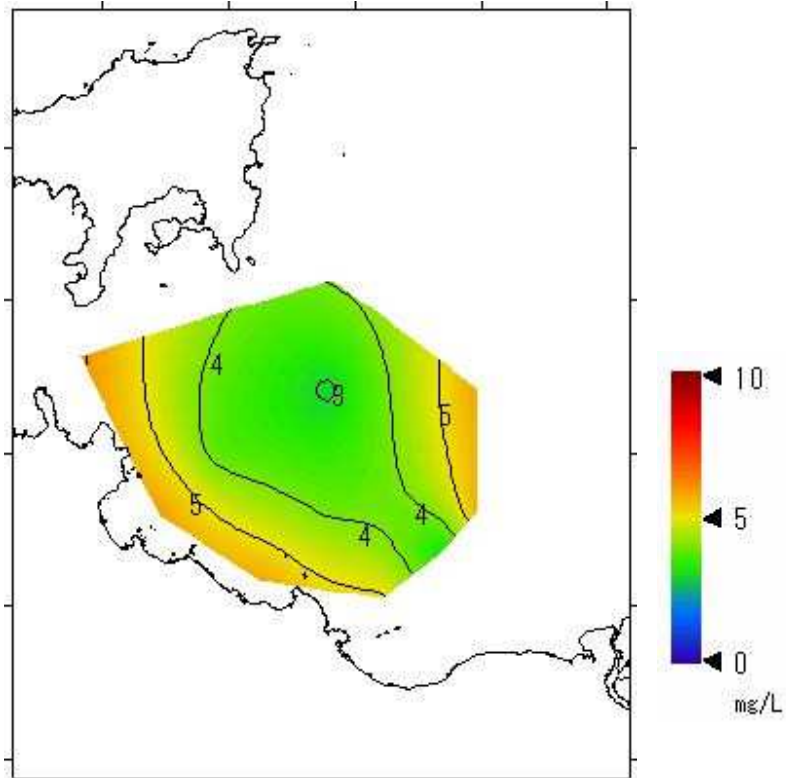
播磨灘貧酸素情報（第 5 号）

香川県水産試験場

9月6日観測結果

9月6日現在、小豆島南東沖から播磨灘南西部で底層の溶存酸素濃度（DO）の低下が継続しています。今後、水温の推移によっては、貧酸素化の継続が懸念されますので、動向に注意する必要があります。

調査名：浅海定線調査
測定方法：ウインクラー
アジ化ナトリウム変法



底層の溶存酸素濃度

溶存酸素濃度（DO）の目安*

溶存酸素濃度	生物への影響
4.3mg/L 以下	魚類・甲殻類・底生生物（ベントス）に影響
3.6mg/L 以下	貝類に影響，甲殻類の生存困難
2.9mg/L 以下	底生生物（ベントス）の生存困難
2.2mg/L 以下	底生魚類の生存困難

* 漁場環境容量策定事業報告書（水産資源保護協会 1989）を参考にしています。